

2020年 10月 No.60

日本比較文化学会

# JACC 比較文化会報

本部事務局：〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀1丁目3番5号

西南女学院大学 観光文化学科 林裕二研究室内

会長室：〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀1丁目3番5号

西南女学院大学 観光文化学科 八尋春海研究室内

学会HP：<http://www.hikakubunka.jp/>

## 《巻頭言》会長就任にあたって

日本比較文化学会 会長 八尋 春海

9月5日の総会で会長に選任されました八尋春海です。この場を借りてご挨拶をさせていただきます。

現在の日本比較文化学会に対する私自身の問題意識は、非常勤講師や大学院生の比率は高まっている一方で、専任教員が少ないということです。このことに危機感を持っています。そこで私は、非常勤講師や大学院生が専任教員の職に就くのに学会として何ができるか考えたいと思っています。

実は今年に入り、他の多くの学会で研究大会の中止やオンライン大会への変更が決定される中で、私は会長兼大会実行委員長として「対面とオンラインを併用したハイブリッド大会の実施」を提案し実現しました。対面でしか発表できない、あるいはオンラインでしか発表できない発表者の全員が発表できるような大会としました。とにかく研究発表の場を提供しようという思いでした。大会での1本の発表が研究者としてのキャリアに極めて重要な意味を持つこともあります。業績を積み重ねたい会員の期待に添える学会でありたいと思います。私自身が遠回りをして（大学院に入るまでに2つの職と2回の無職を経験）、その後、運良く大学の職に就くことができました。少々のことはストレスに感じない私ですが、自分の過去の経験から無職であることや将来が見通せない不安はよく分かります。

本学会は歴史的にも若手の発表の機会の確保をしてきています。年間の論文発行回数が多いこともそうです。また、9月の大会で台湾応用日本語学会との協定締結をしましたが、海外提携学会が多いことも（現在5つの海外提携学会がある）、この学会の強みです。会員にとっては、国際大会での口頭発表や論文発表の機会が充実しているということでもあります。

さらに、研究成果を掲載する学会誌のレベルということも重要な要素となります。その点、編集委員会のさまざまな努力と工夫により、ここ20年くらいの間でかなりのレベルアップが実現でき、対外的な評価も高まりました。現在、編集委員会では学会誌のさらなるレベルアップのために新たな査読システムについて検討中です。

これからの2年間で会長としてできることは限られておりますので、今回、述べましたようなことを意識して学会運営にあたりたいと思います。みなさまのご協力をなにとぞ、よろしくお願い申し上げます。

## 《第 42 回全国大会・2020 年度国際学術大会報告》

日本比較文化学会会長・第 42 回全国大会準備委員長 八尋 春海

9 月 5 日に日本比較文化学会第 42 回全国大会・2020 年度国際学術大会が無事、開催されました。「無事」というのは文字通りの意味です。新型コロナウイルス感染拡大が収まらず、台風 9 号と 10 号に挟まれた中での大会実施だったからです。今回の大会は、新型コロナウイルス感染拡大のために、大会の延期、オンライン発表の導入、海外提携学会歓迎会の中止、特別講演の中止、懇親会の中止、大会会場のウイルス感染防止対策など異例づくめとなりました。

大会では、シンポジウムのパネリストのうち 1 名のみが対面で他の 4 名はオンラインでの参加となりました。また、研究発表では 57 名の発表者（17 名の対面発表と 40 名のオンライン発表者）という大規模な大会となりました。会場の設備とスタッフのマンパワーの事情で、オンライン発表者 40 名のうち 29 名は完全なオンラインでの発表で、海外在住の 11 名の発表は、事前に送っていただいた発表動画を大会会場で映し質疑応答部分だけをオンラインで行うというものでした。このように、対面発表、完全オンライン発表、部分オンライン発表という 3 種類の発表形態となりました。

最後になりましたが、このたびの大会開催にあたり、大会スタッフのみなさま、前回大会委員会の山内信幸先生と北林利治先生、パネリストのみなさま、司会をお引き受けいただいたみなさまには、この場をお借りして感謝の言葉を述べたいと思います。

## 《第 43 回全国大会・2021 年度国際学術大会開催のお知らせ》

関東支部長・全国大会準備委員長 近藤 俊明

第 43 回全国大会の開催日、場所は現時点で未定です。

コロナ禍により人の集まる学会の開催等に制約が生じている状況ですので、当初の予定の変更を余儀なくされております。次回大会は関東支部主管となるため、関東支部総会(近日中に ZOOM にて開催)にて開催日、場所等を決定し、学会ホームページにてご報告します。

なお、発表申込の締切は、開催地・日程とともに、ホームページにてお知らせします。

・シンポジウム・テーマ「比較文化学の探求—比較文化のスキームを求めて」

## 《新役員》

副会長就任の挨拶

副会長（会務・国際交流担当） 北林 利治

このたび、2020 年 9 月に開催されました第 42 回日本比較文化学会全国大会臨時理事会におきまして、八尋春海会長より副会長（会務・国際交流担当）の指名を受けました北林です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。コロナ感染症の広がりから、学会活動にもさまざまな制約の多い日々が続いています。そのなかで、9 月 5 日に開催された全国大会は、対面とオンラインを組み合わせたこれからの学会活動のひとつのモデルになると思います。今回、台湾応用日本語学会とあらたに協定を結び、海外との提携学会も 5 つとなりました。今後とも、さらに多くの海外の学会との交流が望まれます。40 年前、「サロン」と称して学際的な集まりとして立ち上げられたこの学会において、現在の厳しい状況下で、会員同士のつながりを大切にしながら、どのように学会活動を進めていけばよいのかを、八尋会長をしっかりと支えながら、模索していきたいと思ひます。

## 副会長（研究・教育担当） 澤田 敬人

このたび副会長に就任いたしましたことになりました。研究・教育を担当いたします。研究・教育は学会に所属する研究者にとって中心的な営みであります。その成果の蓄積に寄与する学会にとって不可欠であるばかりか、研究・教育を抜きに将来の発展のありようを語ることはできません。学会としてその価値を正しく把握する必要があります。任命されたうちは会長を助け、職責に鋭意専心努力いたします所存でございます。なにとぞ今後とも学会の発展に向け、ご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。本学会での私の最も古い記憶は、芳賀先生ご夫妻らと共にニュージーランドとマレーシアに渡って薫陶を受けたことです。中部支部創設時には、太田先生から学会の理念さらには学問の楽しみ方を教わりました。学会創設の理念から令和時代の最先端研究に至るまで往來するのにさほどの苦労がない当学会には、十分に可能性があると信じております。比較文化の研究・教育が、昨今のグローバル化した課題に問題解決の糸口となる知識を提供できるよう努めてまいりたい存じます。

## 《編集委員会報告》

### 編集委員長 中村 友紀

2020年度の日本比較文化学会奨励賞は、残念ながら該当なしとなりました。来年度こそは、比較文化研究の発展に寄与する論文を選出できることを期待しております。なお、大会は9月開催となりましたが、奨励賞は選考対象期間が前年4月から当年1月までと決まっているため、5月には選考委員会が結論を出し、そのタイミングで学会ウェブサイトにて結果発表を行いました。

今回の大会開催の際に、委員会構成員の交代がありました。中国四国支部の編集責任者を長くお務めくださった山下明昭委員がご退任され、その後任として、相村知美委員が中国四国支部より選出されました。また、編集委員会委員長は任期2年の満了となりましたが、引き続き今年度からの2年間につきまして中村が再任となりました。

今年度は、投稿論文の増加傾向や領域の多様化に対応すべく、査読体制の調整を行っております。貴重な研究成果の公開の場として、また研鑽の場として、学会誌という媒体が最大限活かされるような仕組みを目指しております。

## 《総会報告》

### 事務局長 林 裕二

9月5日(土)北九州国際会議場にて開催した日本比較文化学会総会の議事録を以下に報告します。

#### 報告

##### 1. 本部事務局報告

(1) 会員の動向：2020年8月1日付の全会員数は532名。

(2) 全国大会について：①第43回全国大会・2021年度国際学術大会に関する決定事項の報告。

②今後の全国大会主催支部のローテーションは「九州(2020年度42回大会)→関東(2021年度43回大会)→東北→中部→中国・四国→関西」となる。

2. 編集委員会からの報告：奨励賞選考結果：該当者なし。

3. 広報委員会からの報告

#### 議事

1. 台湾応用日本語学会との協定の件：承認。

2. 会則の変更の件：承認・提案：第3条1大会の開催時期についての項の改定。現行：大会(年1回、原則として6月第2週末に開催する) 改正後：大会(年1回、原則として毎事業年度終了

後3ヶ月以内に開催する) 改正理由:実態に即したものにし、会則第16条の総会開催の規定にもあわせるため。

3. 提案:第5条3 会費の支払い期限の改定 :承認 現行:会員は、第23条による細則に定める会費を毎年6月末日までに支払わなければならない。改定後:会員は、第23条による細則に定める会費を毎年3月末日までに支払わなければならない。改正理由:会費の支払いを事業年度にあわせるため

4. 2019年度会計決算の件:承認

5. 2020年度会計予算の件:承認

6. 会長選出の件:理事会から会長候補者して八尋春海現会長が選出されたことを報告し、了承。

7. 新理事・新役員選出の件:承認 2020-2021年度【名誉会長】太田敬雄【顧問】佐藤幸正、市川郢康、奥村訓代【会長】八尋春海【副会長】北林利治(会務・国際交流担当)、澤田敬人(研究・教育担当)【理事】林裕二、伊藤豊、近藤俊明、白鳥絢也、山内信幸、轟木靖子、八尋春海、高橋栄作、佐藤知条、澤田敬人、北林利治、山下明昭、砂川典子、佐藤和博、高橋強、樋口謙一郎、藤岡克則、山崎祐一、藤山和久、佐藤慶治、佐藤静、中村友紀、金志佳代子、高瀬文広【監事】公文素子、吉村圭【本部事務局】事務局長 林裕二 副事務局長 梶原雄(海外提携学会、ホームページ担当)、藤山和久(会計担当)、事務局員 中村友紀(会報担当)

**\*2019年度決算・2020年度予算報告は巻末(p.7)に掲載しております。**

## 《支部報告》

### 東北支部

#### \*【報告】

2019年度東北支部大会は2020年3月15日に開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大問題への対応として、対面での支部大会ならびに総会を中止し、会員への書面送付(2020年8月20日付)をもって総会の代替とした。また通常は夏期に開催している東北・関東支部合同例会も、同様の理由で本年度は開催を見送った。

#### \*【お知らせ】

2020年度東北支部大会は例年と同時期にオンライン開催の方向で、今後調整する予定である。詳細については、後日学会HP等で告知するので、そちらをご確認いただきたい。

支部長 伊藤 豊

### 関東支部

#### \*【お知らせ】

今年度、例会、総会をコロナ禍のため開催できていないことを受け、近々関東支部総会を、ZOOM会議で行います。日程が決まり次第学会ホームページでお知らせします。

支部長 近藤 俊明

### 中部支部

#### \*【お知らせ】

今後のお知らせなどはウェブサイトでご案内しますので、そちらをご確認ください。

支部長 白鳥 絢也

## 関西支部

\*【報告】2020年度10月例会

日時：2020年10月3日（土）14:00～16:45

場所：同志社大学今出川キャンパス 良心館303教室

### プログラム

#### 1. 研究発表（14：00～15：40）

- (1) エスカンド ジェシ（大阪大学大学院）「ゲールの放浪—古代アラビアから現代日本への文化移転を追跡して—」
- (2) 鄭 芝婁（関西大学大学院）「ラフカディオ・ハーン『茶の木縁起』考察」
- (3) 湯谷 和女（神戸女子大学）「ジェイン・オースティンの小宇宙—オースティンの小説の社会的・政治的背景—」

#### 2. 講演（16：00～16：45）

佐久間 浩司先生（京都橘大学国際英語学部教授）「将来不安と増税と日本経済」

\*【お知らせ】関西支部12月例会

日時：2020年12月19日（土）

場所：同志社大学今出川キャンパス

支部長 山内 信幸

## 中国・四国支部

\*【報告】2020年度中国・四国支部研究集会

日時：2020年9月26日（土）13:00～15:30

方法：オンライン集会

9月26日、香川大学轟木研究室より遠隔通信（ZOOM）にて研究集会を開催しました。途中、若干回線のトラブルもありましたが無事実施することができました。参加者の皆様には多々ご協力いただき、厚く御礼申し上げます。発表者、タイトルは以下のとおりです（参加者14名）。

### プログラム

- (1) 駱 媛（広島大学大学院）「日中災害文化の比較研究について—水害記念館を通して—」
- (2) 伊槻 悟（徳島大学大学院）「自然言語の手話に、聴文化が、ろう文化の言葉に与える影響を比較する」
- (3) 星野 凜（徳島大学大学院）「パンの会の脱領域的性質と場の効果—サードプレイス論を参考に—」
- (4) 曹 卓琦（東京学芸大学大学院）「中国人日本語学習者の物語描写における数量表現の特徴—日本語母語話者との比較を通じて—」

\*【お知らせ】

2020年度の総会を2021年2月に予定しております。

支部長 轟木 靖子

## 九州支部

### \*【報告】

新役員について以下のとおり、ご紹介をさせていただきます。

支部長：八尋春海（西南女学院大学）

副支部長：山崎祐一（長崎県立大学）・高瀬文広（日本赤十字九州国際看護大学）

監事：篠原征子（北九州市立大学非常勤）・大田千波留（熊本学園大学非常勤）・

佐藤慶治（鹿児島女子短期大学）

事務局長：樋口真己（西南女学院大学）

副事務局長：藤山和久（広島経済大学）

会計監査：林裕二（西南女学院大学）

編集：砂川典子（九州ルーテル学院大学）・神崎明坤（西南女学院大学）・

山崎祐一（長崎県立大学）・岩松文代（北九州市立大学）

ハラスメント相談員：藤山和久（広島経済大学）・樋口真己（西南女学院大学）

### \*【お知らせ】2020年度支部大会

2020年度支部大会は以下のとおりです。他支部会員の発表や参加も歓迎いたします。

日時：2021年3月6日（土）

場所：沖縄県総合福祉センター（那覇市）

研究発表申込：2021年1月末日までに支部事務局(yahiro@seinan-jo.ac.jp)に氏名、所属、発表タイトル、10行程度の概要をお知らせください。

支部長 八尋 春海

### 《事務局より》

事務局長 林 裕二

去る第42回日本比較文化学会・総会において、1期2年間に渡り会長を務められた八尋春海先生が次期も続けて就任することが決定いたしました。これに伴い、新事務局体制による学会運営が始まりました。

学会運営上の様々な対応や処理などを毎日のように経験しております。定型業務が多くを占めますが、新規の対応が必要な課題もあります。対応には至らぬところもあろうかと存じますが、誠心誠意努力してまいりますので、学会員の皆さまのご協力とご支援のほど、心よりお願い申し上げます。

**○会員情報更新のお願い：**住所不明により学会誌や会報をお届けできない会員の方がいらっしゃいます。就職、転勤等によるお引越の際には、忘れずに会員調査書（＝入会申込書）に新情報をご記入の上、会員調査書送付先アドレスまでお送りください。なお会員調査書は学会ウェブサイトよりダウンロードしていただけます。

＜日本比較文化学会 ウェブサイト 入会・会員情報変更＞ [http://hikakubunka.jp/?page\\_id=97](http://hikakubunka.jp/?page_id=97)

＜入会申込書・会員調査書送付先＞ あゆみコーポレーション（業務委託先）  
hikakubunka@a-youme.jp

**○会費納入のお願い：**会費の納入にいつもご協力いただき感謝いたします。2年以上未納（学生会員については1年以上）の場合には会員資格を失うこととなりますのでご注意ください。

<会費振込情報> 郵便振替口座番号：02570-6-8921

加入者名:日本比較文化学会

振り込みの際には、所属支部と何年度分の会費であることを明記してください。

### 《2019年度決算・2020年度予算報告》

2019年度日本比較文化学会 決算			2020年度日本比較文化学会 予算		
科 目	2019年度予算	2019年度決算	科 目	2020年度予算	
I 収入の部			I 収入の部		
1、資産運用収入			1、資産運用収入		
利子	160	13	利子	160	
2、会費収入			2、会費収入		
一般会員	2,833,000	2,367,842	一般会員	2,833,000	
賛助会員	10,000	10,000	賛助会員	10,000	
3、事業収入			3、事業収入		
『比較文化研究』配布収入	6,000	12,000	『比較文化研究』配布収入	6,000	
4、寄付収入			4、寄付収入		
寄付収入	0	0	寄付収入	0	
5、その他	0	10,000	5、その他	0	
当期収入合計(A)	2,849,160	2,399,855	当期収入合計(A)	2,849,160	
II 支出の部			II 支出の部		
1、大会開催関連費			1、大会開催関連費		
第40回大会費	350,000	350,000	第41回大会費	350,000	
2、支部運営補助費			2、支部運営補助費		
支部運営補助費	60,000	60,000	支部運営補助費	60,000	
3、『研究』発行費			3、『研究』発行費		
編集補助費	600,000	520,000	編集補助費	520,000	
発送費	800,000	452,211	発送費	800,000	
4、会員活動補助費			4、会員活動補助費		
若手研究者海外渡航費補助	150,000	30,000	若手研究者海外渡航費補助	150,000	
5、提携学会交流費	100,000	72,810	5、提携学会交流費	100,000	
6、管理費			6、管理費		
事務局費	35,000	108	事務局費	35,000	
交通費	100,000	32,756	交通費	100,000	
通信費	10,000	2,282	通信費	10,000	
業務委託費	380,000	337,975	業務委託費	380,000	
会議費	150,000	0	会議費	150,000	
印刷費	50,000	47,673	印刷費	50,000	
HP管理維持費	50,000	37,136	HP管理維持費	50,000	
『会報』編集補助	27,000	25,399	『会報』編集補助	27,000	
手数料(振込み等)	38,000	56,837	手数料(振込み等)	38,000	
7、予備費	100,000	19,182	7、予備費	100,000	
当期支出合計(B)	3,000,000	2,044,369	当期支出合計(B)	2,920,000	
当期収支差額(A)-(B)	-150,840	355,486	当期収支差額(A)-(B)	-70,840	
前期繰越額(C)	4,423,982	4,423,982	前期繰越額(C)	4,779,468	
次期繰越額(A)-(B)+(C)	4,273,142	4,779,468	次期繰越額(A)-(B)+(C)	4,708,628	